

7月15日～8月15日は見直し摘果強化期間となります。

特に、早生種は収穫まで約1ヵ月となりましたので、着果量の見直しを急ぎましょう。

1、りんごの肥大状況

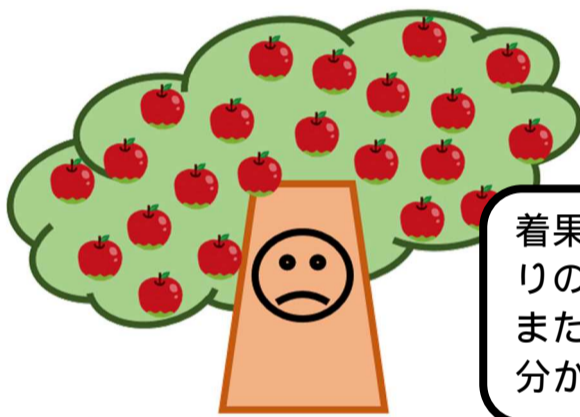
7月11日現在の果実肥大は、各品種で平年を上回る結果となりました。

単位：cm

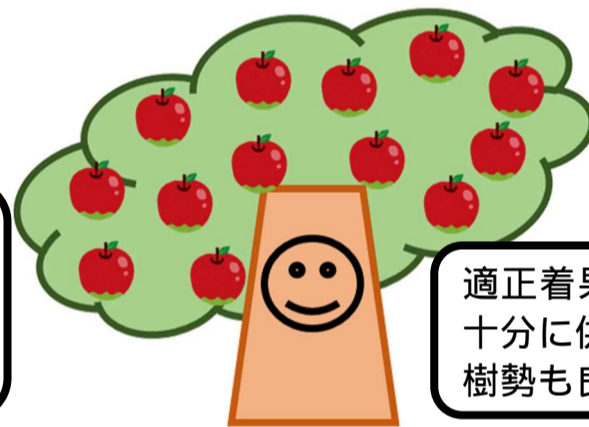
| 地点 | つがる | ジョナゴールド | 王林 | ふじ |
|---------|------|---------|------|------|
| 新和（平場） | 6.1 | 6.1 | 5.0 | 5.4 |
| 鬼沢（中間） | 5.6 | 5.8 | 5.1 | 5.3 |
| 三和（中間） | 6.3 | 6.4 | 5.9 | 5.8 |
| 十腰内（山手） | 6.1 | 5.6 | 5.1 | 5.5 |
| 農協平均 | 6.3 | 5.9 | 5.6 | 5.5 |
| 平年比 | 115% | 109% | 112% | 117% |

2、摘果作業

今年も夏場の高温が予想されています。過着果は日ヤケ果や着色の他、来年の花芽形成にも影響しますので、適正着果を心がけ、収穫の早い早生種から、随時みなし摘果を進めましょう。



着果量が多いと、りんご1個あたりの養分は少なく、品質が低下。また、樹体、花芽形成に十分な養分が供給されなくなります。



適正着果にすると、養分が十分に供給され、花芽形成、樹勢も良好になります。

3、薬剤散布

| 散布時期 （散布日の目安） | 対象病害虫 | 薬剤名 及び混合順序 | 倍数 | 1000 当り薬量 | 防除上の注意 |
|--------------------------|--|-------------------------------|------------------|----------------------|---|
| 10回目 7月末 （7月29日頃） | 黒星病・褐斑病・炭そ病 斑点落葉病・すす斑・すす点病 珙シツクイガ・ハダニ類 ナシメシクイ・キンモンハクガリガ | ダイパワー水和剤 ダントツ水溶剤 | 1,000倍 4,000倍 | 1kg×1袋 250g×1本 | <ul style="list-style-type: none"> ハダニの発生予察を行い、発生が早い場合は殺ダニ剤の早期散布を検討しましょう。 アリエッティCは最後に混用しましょう。 散布間隔は15日以内とし、降雨が予想される場合は、前倒して散布してください。 |
| 11回目 8月半ば （8月12日頃） | 黒星病・斑点落葉病・褐斑病 炭そ病 珙シツクイガ・ハダニ類 ナシメシクイ・キンモンハクガリガ | オリオン水和剤 殺ダニ剤 アリエッティC水和剤 | 1,000倍 800倍 | 500g×2袋 1.25kg×1袋 | |
| 12回目 8月末 （8月26日頃） | 斑点落葉病・炭そ病・輪紋病 すす病・褐斑病・黒星病 珙シツクイガ・ハダニ類 ナシメシクイ | ダイパワー水和剤 イカズチWDG | 1,000倍 1,500倍 | 1kg×1袋 333g×2袋 | |
| 13回目 9月半ば （9月9日頃） | すす斑・すす点病 モモシクイガ ナシヒメシクイ | オーソサイド水和剤 デリゲートWDG | 800倍 10,000倍 | 1.25kg×1袋 100g×1袋 | |

農作業中事故の防止について

気象庁の1ヵ月予報では気温が平年並みから高い予報となっております。農作業中の事故には十分注意し、作業を行いましょう。

